

事務事業評価表

平成14年度	主要事業計画対象の有無	有	電話	042-769-8283
担当部課名	管理部	学校保健課	給食係	係
事務事業名	ランチルーム整備事業		事業コード	14121

1 総合計画における位置づけ

政策名	第4章	人間性豊かな子どもを育成します	事業開始年度
基本施策名	第1節	ゆとりある学校教育の創造	~63 年度
施策名	第2施策	小・中学校教育の充実	

2 実施根拠及び関連法令等

--

3 事業概要

(1) 事業の目的		(2) 対象(誰、何)	
新設校へのランチルームの設置や余裕教室を利用したランチルームの整備を図り、異学年との交流や給食を通じての教育活動に利用するなど、豊かな給食の実現を推進する。		各小学校	
		対象数	52校
(3) 平成13年度事業の内容		(4) 総合計画・実施計画における概要	
夢の丘小学校及び富士見小学校の2校のランチルーム整備 建設費概算31,500千円×2校=63,000千円(広さ163平米概ね2教室分)(学校施設課担当) 備品整備概要4,984千円(ランチルーム用テーブルと椅子)		新設校にランチルームを設置していくとともに、学校施設課実施の大規模改造に合わせ、余裕教室等を利用してランチルームを整備していく。54校中22校に設置。(14年度開校の新設2校分含む)	
		(5) 個別計画の概要	
		計画名	
		計画年次	年度~ 年度

4 評価指標

指標名	各小学校ランチルーム設置状況		
指標式	ランチルーム設置校数(22校)/小学校総数(54校)×100 *新設2校の学校設置はH14年度であるが、予算執行の関係で2校分を加えてある。		
指標設定の意図	ランチルーム整備状況の把握		

5 目標と実績

〔金額単位：千円〕

	平成11年度	平成12年度	平成13年度(評価対象年度)		平成14年度
	実績	実績	実績	目標	目標
指標	0	0	a 41	b 41	42
指標			c	d	
指標			e	f	
事業費	決算(予算)額	0	4,984	6,571	2,727
	人員・時間数	24H	24H	48H	48H
	人件費	101	101	201	201
	その他経費	17	14	0	45
	合計	118	5,185	6,817	2,973
特定財源	0	0	0	0	0

6 個別評価

(1)達成度…目標をどれだけ達成したか			
評価 A ▼	A : 達成している (100%)	= 、 、 の平均値 = 100.0%	
	B : 一部達成していない(100%> 80%)		
	C : 達成していない (80%>)		
$\frac{a}{b}$	$\frac{40.7}{40.7} \times 100 = 100.0\%$	$\frac{c}{d}$	$\times 100 =$
		$\frac{e}{f}$	$\times 100 =$

理由：

(2)必要性…時代変化に適応した事業内容か			
評価 A ▼	A : 適応している	理由：	ランチルームでの異学年との交流給食等を通じて、社会性の向上や食事マナーの習得も期待できるなど給食を通じての教育活動の場となりうる。
	B : 一部適応していない		
	C : 適応していない		

(3)経済性・効率性…費用対効果は妥当か			
評価 A ▼	A : 妥当である	理由：	普通教室2教室分にランチルーム用テーブルと椅子を用意するほかは室内を若干手直しするだけで教室とは違った雰囲気領域とすることができる。設置校では、学年・クラスごとに利用計画を作成するなど利用度も高い。
	B : 一部妥当でない		
	C : 妥当でない		

(4)事業の代替性…県、民間との役割分担のあり方から見て、市が実施していくことが妥当か			
評価 A ▼	A : 代替の可能性ない	理由：	学校内での学校給食の場の提供の一方策であり、代替の可能性はない。
	B : 代替の可能性低い		
	C : 代替の可能性高い		

(5)市民満足度…対象市民の満足は得られているか			
評価 A ▼	A : 満足できる	理由：	設置率は若干低いですが、県内同規模市と同じ状況であり、微増ではあるが今後も伸びが期待できる。
	B : 一部満足できない		
	C : 満足できない		

(6)有効性…当該事業は上位の施策を実現する上で有効か			
評価 A ▼	A : 有効である	理由：	施設改善、大型備品の導入、食器改善等により豊かな給食をめざし事業展開しており、上位施策の実現には極めて有効である。
	B : 一部有効である		
	C : 有効でない		

<p>評価バランスチャート</p>	<p>成果向上の余地</p> <input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	<p>説明：</p> 新設校への設置のほか、余裕教室等の活用を図り、ランチルームの設置を推進していく。
	<p>コスト改善余地</p> <input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	<p>説明：</p> 楽しい給食、交流給食の場作りであり、普通教室とは多少違った雰囲気作りが求められるが、室内の装飾等の工夫でコスト改善は可能である。

7 総合評価

評価	AA ▼	他自治体の類似事業との比較	横浜市 352校中97校(27.6%)、川崎市 117校中35校(29.9%)、横須賀市 48校中7校(14.6%)、厚木市 23校中10校(43.5%)、大和市 20校中5校(25.0%)、平塚市 28校中15校、相模原市 54校中22校(40.7%)
今後の進め方		説明	設置率等の大幅な伸びは期待できないが、余裕教室等の状況も考慮しながら、少しずつ増設していく必要がある。
<input checked="" type="checkbox"/>	継続		
<input type="checkbox"/>	見直し		
<input type="checkbox"/>	廃止		
<input type="checkbox"/>	完了		

8 二次評価における変更点